

[竹中大工道具館開館 30 周年記念巡回展]

日中韓 棟梁の技と心

Master Carpenters in Japan, China, and Korea

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび竹中大工道具館では、2014年11月1日(土)から12月28日(日)まで、巡回展「日中韓棟梁の技と心」を開催いたします。

竹中大工道具館では、これまで鋸やカンナなどの大工道具をはじめ、大工や左官、木挽、^{かざり}鋳師などの建築に携わる職人の技と心をテーマに企画展を開催してきました。2010年には開館25周年の記念事業として、日本国内4都市(東京・札幌・神戸・名古屋)を巡回する展覧会「棟梁一堂宮大工の世界一」を開催し、その続編として2012年には、「数寄屋大工一美を創造する匠一」を開催いたしました。

今回の展覧会は、日本・中国・韓国と海外へも視野を広げて、日中韓の大工棟梁を取り上げます。中国・韓国は故宮(紫禁城)、景福宮という普段知ることのない「^{かざり}宮殿をつくる棟梁」の姿を紹介し、日本の棟梁とあわせ、それぞれのものづくりの精神や建築文化の特色を解説します。

目玉展示は中国・韓国の宮殿や日本建築の迫力の建築模型です。海を渡って一堂に会した棟梁ゆかりの大工道具や設計図とあわせて、日中韓の建築文化やものづくりの精神を肌で感じていただける展覧会です。ぜひともご来場くださいますようお願い申し上げます。また、あわせて貴紙誌にてぜひ記事としてお採り上げいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

なお、広報用写真をご用意しております。ご希望の場合は、別紙の写真借用申込書にてご請求ください。読者・視聴者プレゼントにつきましても写真借用申込書にてお申し込みを受け付けております。その他、ご不明な点や資料等のご要望、撮影などの取材を希望される場合は、下記の広報事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

謹白

公益財団法人竹中大工道具館

棟
梁

Master Carpenters in
Japan,

日

の
技

China,

中

と
心

and Korea

韓

[竹中大工道具館開館 30 周年記念巡回展]

会場 = 竹中大工道具館 | 10月4日新神戸駅前
新館オープン

開館時間 = 9 時 30 分 ~ 16 時 30 分 (入場は 16 時まで)

休館日 = 月曜日 (祝日の場合は翌日)

入館料 = 一般 500 円、大高生 300 円、小中生無料、
65 歳以上の方 200 円 ※常設展観覧料を含む

主催 = 公益財団法人竹中大工道具館

企画 = 公益財団法人竹中大工道具館、水原華城博物館 (韓国)

後援 = 外務省、中華人民共和国駐大阪総領事館、駐日韓国大使館 韓国文化院、神戸新聞社

2014. 11. 1 sat - 12. 28 sun

日中韓に受け継がれる匠たちの技と心

紫禁城（中国）や景福宮（韓国）などの宮殿建築。壮大なその姿は豪華絢爛です。ドラマや音楽などの影響もあり、中国・韓国の文化に対する幅広い関心の高まりもみられます。一方で、中国・韓国の建築文化を支える職人の姿やその「ものづくりの精神」を知る機会はありません。

本展で紹介するのは、日中韓の各国を代表する三人の棟梁。紫禁城、景福宮、薬師寺という東アジアを代表する建築ゆかりの最高峰の職人たちです。棟梁たちが手がけた建築模型や大工道具、設計図などが海を渡って一堂に会し、その技と心が交流する場をつくりだします。なかでも目玉展示は、迫力の建築模型。紫禁城の組物模型、韓国の実寸大の組物模型、日本建築の美しさの特色がわかる構造模型が林立し、日中韓の建築文化の違いを肌で感じていただける場を演出します。

棟梁たちの「腕の見せどころ」の違いを際立たせながら、日中韓に脈々と受け継がれてきた棟梁たちの「ものづくりの心」にも迫ります。



㊦〔中国〕故宮（紫禁城）太和殿



㊧〔韓国〕景福宮勤政殿

名 称	日中韓 棟梁の技と心
会 期	2014年11月1日(土)～12月28日(日)
会 場	竹中大工道具館 神戸市中央区熊内町7-5-1
主 催	公益財団法人 竹中大工道具館
後 援	外務省、中華人民共和国駐大阪総領事館、駐日韓国大使館 韓国文化院、神戸新聞社
企 画	公益財団法人 竹中大工道具館、水原華城博物館(韓国)
巡 回 先	2015年1月17日(土)～3月1日(日) トヨタ産業技術記念館(名古屋市西区則武新町4-1-35)
公式サイト	http://dougukan.jp/jck_toryo/

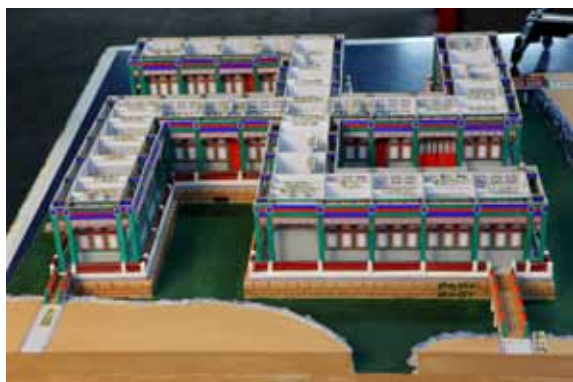
〔中国〕 故宮に伝わる宮殿建築の技

—中国の大木匠師・李永革（り えいかく）—

壮麗な意匠とスケールを誇る紫禁城をつくりあげる理念と設計術を中心に展示を構成。宮殿大工の技を身近に感じて頂けるよう、李氏が製作した太和殿の組物模型も展示します。技術の伝承過程を物語るノート、間棹、皇室建築関係の計画に用いる紙模型などの独特な展示品を通して、知られざる中国宮殿の理念と技を紹介します。



〔C〕 紫禁城太和殿の組物模型、1/5



〔D〕 建物の配置や室内意匠の設計に用いる紙模型



故宮修繕技芸部に伝わる大工道具

〔韓国〕 韓国宮殿美を蘇らせる

－韓国の大木匠・申鷹秀（シン ウンス）－

申氏が手がけた長さ4mにも及ぶ実寸大組物模型が会場に登場。韓国建築の特徴である華麗な組物彫刻の迫力を伝えます。また宮殿の設計図や内部構造のしくみを伝える建築模型、組物製作に用いる型板、建築儀式も紹介。日本と相通じる隣国の建築文化には数々の新鮮な発見があるはずです。



E 救仁寺大祖師殿の組物模型、1/1



F 勤政殿の組物模型、1/5



G 崇礼門（南大門）の構造模型、1/10

〔日本〕古代工匠の心を伝える

—日本の棟梁・小川三夫—

目玉展示は本展にあわせて制作した薬師寺東院堂の構造模型（2分の1）。中国大陸からの文化を取り入れつつ、独自に発達した日本建築の構造美を伝える展示品です。中国や韓国の模型と見比べることで、日本特有な構造の理解も深まります。設計図や型板、大工道具の展示を通して、古代工匠の技に学び、線の美しさを極める小川棟梁のこだわりにも迫ります。



㊦ 薬師寺東院堂の構造模型、1/2



製図道具



各種の台鉋とヤリガンナ

シアターコーナー

—日中韓棟梁の映像展示—

今回の展覧会に向けて制作した、三人の棟梁ゆかりの下記3作品を会場で上映します。

普段みることのできない棟梁の仕事やものづくりにかける思いを、臨場感あふれる映像で紹介します。さらに棟梁自らの視点で、各国を代表する建築の見どころを解説し、三作品あわせて各国の建築文化の特色が理解できます。

[中国]

官式古建築營造技芸—故宮に伝わる技

(20分、2014年制作)

[韓国]

千年の命を吹き込む—韓国の大木匠

(21分、2014年制作)

[日本]

宮大工が語る 日本建築の美と技

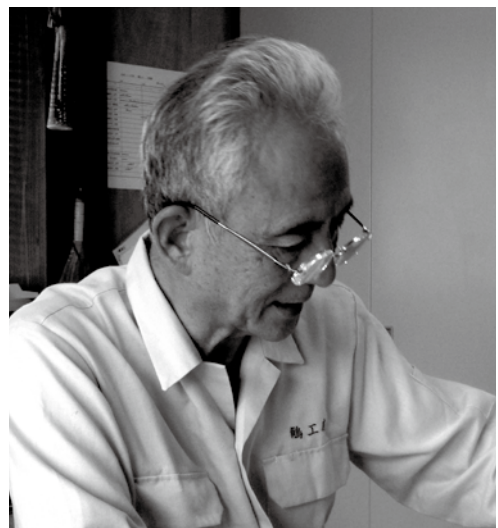
(18分、2014年制作)



□ [中国] 李永革



□ [韓国] 申鷹秀



□ [日本] 小川三夫

記念イベント

〔セミナー〕

大木匠—朝鮮王朝の宮殿をつくった大工たち—

11月15日(土) 13:30~15:00

会場:神戸芸術センター

講師:金東旭(韓国京畿大学校名誉教授)

定員:先着50名(無料・申込不要)

〔記念講演会〕

日中韓の棟梁 技を語る

11月29日(土) 11:00~17:30

会場:兵庫県立美術館ミュージアムホール

司会:藤井恵介(東京大学教授)

講演:李永革(中国)／申鷹秀(韓国)／小川三夫(日本)

定員:先着250名(無料・申込不要)

〔実演〕

中国・韓国 受け継がれてきた棟梁の技

11月30日(日)

①午前部10:30~12:00 (韓国) 申鷹秀氏

②午後部13:30~15:00 (中国) 李永革氏

会場:竹中大工道具館木工室

定員:各回50名(入場料別途、事前申込制)

※ご希望の部をお選び下さい(両方可)。



□ 間棹(ものさし)をつくる李永革

申込方法

ウェブメールまたは往復ハガキに下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブ
メール

日中韓棟梁の技と心展公式サイト(http://dougukan.jp/jck_toryo)「イベント」のページよりお申し込みください。

ハガキ

〔往信用裏面〕イベント名、氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号

〔返信用表面〕宛先にご自身の氏名、郵便番号、住所をご記入ください。

〔お申し込み先〕〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館「日中韓棟梁の技と心展イベント」係

※ハガキ1通につき2名様までお申し込みいただけます。※ご参加の可否の詳細は締切日以降にご連絡いたします。※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、巡回展記念イベント以外の目的には使用いたしません。

プレス関連の問い合わせ

画像掲載については添付の申込書(FAX)または竹中大工道具館ホームページ・プレスリリースページよりお申し込みください。

「日中韓棟梁の技と心」展広報事務局(竹中大工道具館内)

〒651-0056 兵庫県神戸市熊内町7-5-1 TEL:078-242-0216 FAX:078-241-4713 E-Mail:jck_toryo@dougukan.jp

※展示やイベントの日時・内容に変更になることがあります。最新情報はホームページでご確認ください。

公式サイト:http://dougukan.jp/jck_toryo/



FAX : 078-241-4713
竹中大工道具館 広報事務局行き

竹中大工道具館開館 30 周年記念巡回展
「日中韓 棟梁の技と心」

写真借用申込書

- ▶ 広報用に画像データ(JPEG)をご用意しております。ご希望の方は下記ご記入のうえFAXにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ▶ ご紹介いただける場合、読者プレゼント用として本展図録 5 部を提供いたします。ご希望の際は下記の「希望する」をお囲みください。
- ▶ その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

掲載媒体名		
掲載予定日	月	日
媒体種別	新聞 / 雑誌 / テレビ / ラジオ / インターネット / その他 ()	
画像送付先	貴社名	
	ご担当者名	
	E-mail	
	ご住所	
	電話・FAX	
希望画像名	<p>プレスリリース内の写真をご参照のうえ、ご希望の画像の記号に☑をご記入ください。</p> <p>□A:[中国]故宮(紫禁城)太和殿 □B:[韓国]景福宮勤政殿</p> <p>□C:[中国]紫禁城太和殿の組物模型 □D:[中国]建物の設計に用いる紙模型</p> <p>□E:[韓国]救仁寺大祖師殿の組物模型 □F:[韓国]勤政殿の組物模型</p> <p>□G:[韓国]崇礼門(南大門)の構造模型 □H:[日本]薬師寺東院堂の構造模型</p> <p>□I:[中国]李永革 □J:[韓国]申鷹秀</p> <p>□K:[日本]小川三夫 □L:[中国]間棹をつくる李永革氏</p>	
読者プレゼント	希望する	希望しない

【ご掲載にあたってのお願い】

- ・画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさらないでください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局まで FAX 送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに 1 部ご寄贈願います。

報道関係お問い合わせ先 / 公益財団法人竹中大工道具館

〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1

受付時間 9:30 ~ 17:00(月曜日を除く)

電話番号:078-242-0216 ファックス:078-241-4713

メールアドレス : jck_toryo@douguan.jp

日中韓棟梁展公式 HP : http://douguan.jp/jck_toryo/